

## 新電力のリーディングカンパニー エネット、SDGs の取り組みを発表

株式会社エネット（本社：東京都港区、代表取締役社長：川越祐司、以下、エネット）は、2015年に「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、SDGsの達成に向けた取り組みを当社ウェブサイトを通じて発表しましたので、お知らせいたします。

エネットは、お客さまの環境保全ニーズに応えるサービスの提供及び事業活動における環境負荷軽減を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

具体的な事例として、CO<sub>2</sub>排出量を低減できる「グリーンメニュー」や、エネットが開発したAIによる省エネルギーサービス「Ennet eye」などを提供しています。また、本社オフィスで使用する電力をFIT電気と非化石証書を組み合わせ実質CO<sub>2</sub>排出量ゼロとすることで、事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量を低減（オフセット）しています。

エネットでは、これまでの取り組みが「SDGs」の下記の5つの目標の達成に貢献できると考えており、「SDGs」への賛同と取り組みを2019年2月18日（月）に、当社ウェブサイトで発表いたしました。



<p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <p>すべての人々の、 安価かつ信頼で きる持続可能な近 代的エネルギーへの アクセスを確保する</p>	<p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> <p>強靱（レジリエ ント）なインフラ構 築、包摂的かつ持 続可能な産業化の 促進及びイノベーシ ョンの推進を図る</p>	<p>11 住み続けられる まちづくりを</p> <p>包摂的で安全かつ 強靱（レジリエ ント）で持続可能な 都市及び人間住 居を実現する</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>持続可能な生産 消費形態を確保 する</p>	<p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> <p>気候変動及びその 影響を軽減するた めの緊急対策を講 じる</p>
---	---	---	---	--

今後もエネットは、エネルギーとICTを組み合わせた新たな価値を提供し、持続可能な社会に貢献してまいります。

## 【エネットの SDGs 取り組み概要】

・URL : <https://www.ennet.co.jp/about/sdgs.html>

## 【取り組み 1】

## ■ グリーンメニューの提供

近年 CO<sub>2</sub> 削減の気運が世界的な高まりを見せている中、当社は通常メニューよりも CO<sub>2</sub> の排出量を抑えた「グリーンメニュー」を提供しており、「NTT ファシリティーズイノベーションセンター」や、「がすてなーにガスの科学館」などに、この電気を供給しています。

(参考 : <https://www.ennet.co.jp/about/green.html>)



## 【取り組み 2】

## ■ Ennet eye の提供

エネットが開発した、日本初の AI による省エネルギーサービス「Ennet eye」は、電気使用量、気象情報、料金情報など様々なデータを AI が解析し、店舗やビルの実態にあった省エネ対策をタイムリーに配信することで、お客様の省エネへの取り組みをサポートしています。

(参考 : <http://www.ennet.co.jp/about/enneteye.html>)



## 【取り組み 3】

■ 事業活動に伴う CO<sub>2</sub> 排出量オフセット

エネットは、自社オフィスで使用する電力について、非化石証書を充てた実質 CO<sub>2</sub> 排出量ゼロの電力を購入することで、事業活動に伴う CO<sub>2</sub> 排出量を低減（オフセット）しています。

エネットが調達した再生可能エネルギーの固定価格買取制度（以下、FIT）による電力を、エネット本社が入居するビルに供給しています。この FIT 電力に非化石価値取引市場から購入した非化石証書を組み合わせることで、実質 CO<sub>2</sub> 排出量ゼロの電力を実現しました。

この電力をエネット本社で使用することで、事業活動に伴う CO<sub>2</sub> 排出量を低減しています。

(参考 : [https://www.ennet.co.jp/news/detail?news\\_id=117](https://www.ennet.co.jp/news/detail?news_id=117))

